

令和7年度 高知県立高知国際中学校・高等学校 公開授業研究発表会ご案内（第2次）

研究テーマ

0から1を創造できるグローバル・イノベーション・リーダーの育成  
～当たり前を疑い、なぜを探究する力を育成する～

本校は、国際バカロレア（IB）の「学び方を学ぶ」という考え方を全課程、教科、科目の授業に取り入れ、生徒が生涯にわたって学び続けることができる力を養っています。さらに、本年度からはスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定校として、さらなる探究力の育成を図っております。そのための教員研修の一環として、本年度は上のテーマで年間を通した授業改善サイクルをまわす教科別研修会を行っております。

本研究発表会は、この研修会の一つに位置づけており、公開授業を通して本年度のこれまでの研究をふり返し、来年度に向けての授業改善の方向性を探ることを目的として実施します。皆様には本校のこれまでの研究成果とともに授業研究の一端をご覧いただければ幸いです。

- 1 開催日時 令和7年12月5日（金） 13:05～17:00
- 2 開催場所 高知県立高知国際中学校・高等学校（ランチルーム、各教室、体育館アリーナ）
- 3 参加対象者 県内外の教育関係者
- 4 内 容

|              |                          |       |                |       |                            |       |                         |       |       |
|--------------|--------------------------|-------|----------------|-------|----------------------------|-------|-------------------------|-------|-------|
| 12:15        | 13:05                    | 13:50 | 14:00          | 14:50 | 15:05                      | 15:40 | 15:50                   | 16:45 | 17:00 |
| 受付<br>ポスター発表 | 研究説明<br>基調講演<br>(ランチルーム) | 移動    | 公開授業<br>(各教室等) | 休憩    | 意見交換<br>生徒との意見交換<br>(各教室等) | 休憩    | 研究協議<br>協議・講評<br>(各教室等) | 閉会    |       |

① ポスター発表

本校生徒が学習の成果をポスターで発表します。ランチルームの入り口付近で行います。  
生徒たちの多様な形の成果をプレゼンします。是非ご覧ください。

② 基調講演

演題：『他校の授業研究から何を学び所属校で何を生かすのか』  
講師：関西学院大学 教授 時任 隼平 氏

③ 公開授業

本校は中高一貫教育校で、1学年に中学校3クラス、高等学校7クラスが設置されています。  
高校には、普通科（5クラス）とグローバル科（2クラス）が設置されており、グローバル科は探究コースとディプロマプログラムDPコースの2コースがあります。このいずれかのクラスで実施いたします。実施内容については、別紙を参照してください。

#### ④ 意見交換

公開授業に参加した生徒との意見交換を通して、生徒の視点から本校の授業及び教育活動についてご理解いただきます。

#### ⑤ 研究協議

教科ごとに、本校のこれまでの取組及び本時の授業についての協議を教育関係者で行うとともに、助言者からの講評をいただきます。

### 5 参加申込

- ・ 申込〆切は、令和7年11月21日（金）です。
  - ・ 右の二次元コードを読み取るか、下の URL から入り、必要事項を入力してください。
- ※ 申込受付完了の連絡は行いません。変更等があった場合のみ、連絡します。



[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd3K5AD25edbeVQ5R9tb7rK-o\\_34kIwzi6AV1sVKQR6vMDtNw/viewform?usp=dialog](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd3K5AD25edbeVQ5R9tb7rK-o_34kIwzi6AV1sVKQR6vMDtNw/viewform?usp=dialog)

### 6 その他

- ・ 駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ・ お車でお越しの場合には、所属ごとに乗り合わせの上、お越してください。
- ・ 近隣の店舗への駐車は、絶対にしないでください。

#### 【担当】

高知県立高知国際中学校・高等学校

担当 藤澤 誉文

高知県高知市鴨部2丁目5-70

TEL : 088-844-1221 FAX : 088-844-4823

E-mail : takafumi5746@g.kochinet.ed.jp

# 研究授業一覧

|                   |        |                                                                                                          |                   |
|-------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 国語<br><br>N22 教室  | 授業者/生徒 | 久万 真央                                                                                                    | 中学校 1 年           |
|                   | ユニット名  | Unit 4 「表現を見つめる」                                                                                         |                   |
|                   | 研究仮説   | 文学分析に適した問いを授業で教員から提示され、その問いについて考えをめぐらす学習を行えば、生徒は問いのモデリングが生じ、表面的な読解問題から「技法」や「形式」、「文学批評」に関する問いを立てられるようになる。 |                   |
|                   | 助言者    | 中部教育事務所 指導主事 中野 久美子 氏                                                                                    |                   |
| 地理<br><br>S25 教室  | 授業者/生徒 | 小松 朋裕                                                                                                    | 普通科 2 年           |
|                   | ユニット名  | 複雑に絡み合う地球的課題                                                                                             |                   |
|                   | 研究仮説   | 既習の知識・概念をもとに、他の文脈で仮説を立てて実証する学習を行えば、生徒に既習の知識・概念を他に転移させる力がつく。                                              |                   |
|                   | 助言者    | 鳴門教育大学 教授 伊藤 直之 氏                                                                                        |                   |
| 数学<br><br>プレゼンルーム | 授業者/生徒 | 柴田 恭孝                                                                                                    | 普通科 2 年           |
|                   | ユニット名  | モデリング                                                                                                    |                   |
|                   | 研究仮説   | 探究課題に対して個人またはグループでこれまで学習した数学の知識を用いて解決することで、数学の有用性を認識し、なじみのない状況に対しても意欲的に取り組もうとする探究の素地が育成できる。              |                   |
|                   | 助言者    | 文部科学省国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉 氏                                                                            |                   |
| 物理<br><br>物理室     | 授業者/生徒 | 北岡 和樹                                                                                                    | 普通科 2 年           |
|                   | ユニット名  | 電気（電場と電位，電気回路）                                                                                           |                   |
|                   | 研究仮説   | 演示実験や生徒実験，ワークシートやレポート作成などの活動を通して法則性を見出し（エビデンス），現象を深く考察（哲学思考）できるようになる。                                    |                   |
|                   | 助言者    | 文部科学省国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 一人 氏                                                                           |                   |
| 英語<br><br>S23 教室  | 授業者/生徒 | Robert Sparling<br>ドゥー・ヤー・チャ<br>籠尾 悦子<br>和田 美香                                                           | グローバル科 DP コース 2 年 |
|                   | ユニット名  | Sharing the Planet                                                                                       |                   |
|                   | 研究仮説   | 目標と証拠に基づいた自主学習のフレームワークを使用する学習を行うことで、生徒は自分で前進する能力を高めることができる。                                              |                   |
|                   | 助言者    | 高知工科大学 教授 長崎 政浩 氏                                                                                        |                   |

|                          |        |                                                                                             |            |
|--------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 情報<br><br>ICT2 教室        | 授業者/生徒 | 竹内 正明                                                                                       | 普通科 2 年    |
|                          | ユニット名  | 第 6 章 アルゴリズムとプログラミング                                                                        |            |
|                          | 研究仮説   | あたかも正しく感じてしまうネット検索したデータや生成 AI のデータを疑い、また友達との課題検証を行う学習を行えば、生徒はより深く学びとることができるようになる。           |            |
|                          | 助言者    | 高等学校課 指導主事 小黒 拓 氏                                                                           |            |
| 音楽<br><br>音楽室            | 授業者/生徒 | 藤原 慶希                                                                                       | 中学校 1 年    |
|                          | ユニット名  | イメージを音楽で表現しよう                                                                               |            |
|                          | 研究仮説   | 生活のあらゆる場面に根付くこれまでの芸術の当たり前（知識・作品・技能）を認識し、創造とは何かを疑う分析を行うことによって、個人の表現に新たな創造が反映される。             |            |
|                          | 助言者    | 高知学園短期大学 教授 中山 直之 氏                                                                         |            |
| 家庭<br><br>S16 教室         | 授業者/生徒 | 前野 佐希子                                                                                      | グローバル科 1 年 |
|                          | ユニット名  | 消費生活 さまざまな決済方法 ～キャッシュレス決済～                                                                  |            |
|                          | 研究仮説   | I B の評価規準 A i （特定のターゲット層のためのソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること）に取り組む学習をすれば、生徒は見通しをもった課題解決ができるようになる。 |            |
|                          | 助言者    | 高知大学 教育学部 学部長 小島 郷子 氏                                                                       |            |
| 保健体育<br>（体育）<br><br>アリーナ | 授業者/生徒 | 石村 侑大<br>吉村 沙也加<br>武中 将輝                                                                    | 中学校 2 年    |
|                          | ユニット名  | 陸上競技（長距離走）                                                                                  |            |
|                          | 研究仮説   | 正しいフォーム動画と自他のフォームを見比べ分析する学習をすることで、より効率のよい動作が理解できるようになる。                                     |            |
|                          | 助言者    | 保健体育課 指導主事 上岡 真作 氏                                                                          |            |